# 第5節 国際公務キャリアサポート活動

近年、若手会員を中心にキャリア形成の一つとして国際公務（国際機関を含むがそれに限らず官公庁やNGO等のために職員・専門家として行う国際的業務を含む）分野でのキャリア構築に関心を持つ会員が増えつつある。日弁連では、これらのキャリア構築支援の取組を法律サービス展開本部国際業務推進センター国際公務キャリアサポート部会及び国際室が担っている。

## 1 各種セミナー・イベントの実施

**資料3-4-5-1 国際公務キャリアサポートに関するセミナー・イベント**

| 実施年 | 名　称 | 対　象 | 協力機関 | 内　容 |
|---|---|---|---|---|
| 2004年～ | 「国際機関人事セミナー」（現在は「国際機関キャリア情報セミナー」） | 弁護士、法科大学院生等 | 外務省国際機関人事センター | 国際機関職員に求められる資質、職務内容、そして外務省のJPO派遣制度といった国際機関職員になるための具体的方法についての情報提供。 |
| 2010年～ | 「国際分野で活躍するための法律家キャリアセミナー」 | 弁護士、司法修習生、法科大学院修了生、法科大学院生等 | 外務省、法務省、国際法学会、法科大学院協会 | 「国際機関」セッションにて、国際機関の現役職員や職務経験のある弁護士が講師となり、職務内容や勤務の経緯等を自分の経験に基づいて紹介。 |
| 2016年～ | 「国際公法の実務研修連続講座」 | 弁護士 | 外務省、国際法学会 | 国際公法に特化し、実務家及び学者のそれぞれの立場から国際裁判等の実務・理論について、全10回の研修会を開催（隔年開催）。 |
| 2018年 | 「国際公務キャリアサポート講演会」 | 弁護士、法科大学院生等 | | 国際公務分野における弁護士の養成・任用促進のため、関心を持つ弁護士、法科大学院生等を対象とした国際機関職員等の講演会を開催。 |

## 2 国際公務キャリアサポート体制

**資料3-4-5-2 国際公務キャリアサポートに関する制度（2020年9月現在）**

| 名　称 | 概　要 |
|---|---|
| 国際公務相談窓口 | 国際公務分野でのキャリアを志望する弁護士からの相談に対して、各人の実情に即した個別具体的なアドバイスを行うことでキャリアパスの支援を行う。 |
| 国際公務志望者メーリングリスト | 日弁連からの情報提供のほか、国際公務志望者間での双方向の情報交換やネットワーク構築への活用を目的としたメーリングリスト。 |
| 国際機関勤務希望者向け弁護士ロスター登録制度 | 国際機関への就職を希望する弁護士があらかじめ外務省国際機関人事センターに経歴等を登録しておく制度。外務省の協力の下、運営している。 |
| 国際機関就職に関心がある者のデータベース（リストサーブ） | 日弁連の取組を進める中で参加・協力をいただいた関係者のうち希望者が対象。登録すると、日弁連が入手したセミナー情報等がメール配信される。 |
| 国際関連情報提供メールマガジン『JFBA国際メルマガ』 | 国際活動・分野に関心のある会員に対して、国際関係のイベント、支援プログラム、就職関連情報・求人情報等の情報を配信する。 |

## 3 国際機関駐日事務所等での司法修習・インターンの実施

新62期の司法修習から、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）東京事務所、国際移住機関（IOM）駐日事務所、独立行政法人国際協力機構（JICA）、外務省経済局での選択型実務修習（全国プログラム）が導入され、新63期からは国際労働機関（ILO）駐日事務所も追加された。日弁連は同プログラムの立ち上げに尽力し、国際公務分野に進む法曹の養成をサポートしている。

さらに、会員を対象とするインターン制度が、2010年度から国際労働機関（ILO）駐日事務所で導入され、2012年度から赤十字国際委員会（ICRC）駐日事務所、2016年度から国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）駐日事務所、2019年度から国際移住機関（IOM）駐日事務所、日本ユニセフ協会でも開始された。